

# BLD Values

<h3>BLD Philosophy</h3> <p>01</p> <p>顧客・会社・社員の三方ともに利益。あなたのベネフィットの提供から、幸せのプラスサイクルが回り始めます。</p> <p>【三方共益】</p>	<h3>BLD Pride</h3> <p>02</p> <p><b>Always with your happiness.</b></p> <p>ハレの舞台を共創する。 私はこの仕事に「誇り」を持っています。</p>	<h3>BLD Policy</h3> <p>03</p> <p>お客様に最高のベネフィットを提供します。</p> <p>ベネフィット[Benefit]: 私たちのサービスを利用することで お客様が得ることのできる価値</p>	<h3>Ask Yourself</h3> <p>04</p> <p>あなたの提案や存在は、 お客様にとって 価値が高いものですか?</p>	<h3>Close to Customer</h3> <p>05</p> <p>お客様のモヤモヤにダイブしよう。 何をもっと望み、 どんなことを心配していますか?</p>	<h3>Trust Bridge</h3> <p>06</p> <p>お客様にどんな言葉をかけてほしいか。 その答えの先にある、お客様との 「信頼の架け橋」が見えますか?</p>	<h3>Make Wonder</h3> <p>07</p> <p>お客様を迎え入れるその空間、 洗練された雰囲気と快適さが 創り込まれていますか?</p>
<h3>Create Five Stars</h3> <p>08</p> <p>あなたが生み出すサービスは、お客様に最高の「特別感」「優越感」「安心感」「期待感」「満足感」を届けていますか?</p> <p>★★★★★</p>	<h3>The Best Benefit</h3> <p>09</p> <p>is 「You」</p> <p>今のあなたは、 お客様を喜ばせ、 笑顔にすることができる 最高のベネフィッターですか?</p>	<h3>ペルソナモデリング</h3> <p>10</p> <p>何に喜び、何に怒り、 何に哀しみ、何を楽しむのか。 オンリーワンのサービスは、 お客様になりきることから創られる。</p>	<h3>智芯創世</h3> <p>11</p> <p>一人ひとりの「智」を集め、 組織に広げ、更新を繰り返そう。 ダイナミックな智の循環こそが、 BLDの未来を創る原動力。</p>	<h3>Black Ocean</h3> <p>12</p> <p>競争のないブルーオーシャンは幻想。 あったとしても、水たまり。 目指すは「ダントツNo.1」。</p>	<h3>革新サーファー</h3> <p>13</p> <p>革新の連続が時代をつくる。 過去の栄光はその場に置き去り、 迫りくる変化の荒波を乗り越えよ。</p>	<h3>現状維持は退化なり</h3> <p>14</p> <p>時代は進む。 ライバルも進む。 あなたは、どうする?</p>
<h3>Manabi - Sute</h3> <p>15</p> <p>ラン、 リラン、 アンラン。</p>	<h3>Metabolism</h3> <p>16</p> <p>人もハコも組織も、 新陳代謝が生命線。 流れる水は腐らない。</p>	<h3>大志一敗に散る?</h3> <p>17</p> <p>必ずやり遂げると誓ったその志、 たった一度の敗北で捨てますか?</p>	<h3>勇引力</h3> <p>18</p> <p>真の仲間、 富でも地位でもなく、 勇気に集まる。</p>	<h3>勇者の心得</h3> <p>19</p> <p>勇者は独りで旅をしない。</p>	<h3>一向不如意迷惑</h3> <p>20</p> <p>己の意のままにならないのは世の習い。 不如意は、教え満載の百科事典。 今のあなたの三不如意はなに?</p>	<h3>ザンビのススメ</h3> <p>21</p> <p>日常容赦なく襲ってくるストレスには 小さく死ぬ。 小さな死の積み重ねが、「強い生」となる。</p>
<h3>Resilience</h3> <p>22</p> <p>「私にもできた!」 「私も役に立っている!」 その自尊心と自己効力感が、 あなたを守り育てる逆境力。</p>	<h3>劣等エンジン</h3> <p>23</p> <p>あなたの劣等感は、 あなたを努力の天才にする 最強の成長推進エンジン。</p>	<h3>出る杭はもっと出ろ!</h3> <p>24</p> <p>どれだけアビールしても、 受け入れられない時はある。 それでも次のチャンスを待てるなら、 エベレスト級まで突き抜ける。</p>	<h3>量質転化の法則</h3> <p>25</p> <p>今のあなたの仕事の質は、 やり遂げた仕事の量に比例する。 さらなるスキルを望むなら、 何より先に量にこだわれ。</p>	<h3>THE プロフェッショナル</h3> <p>26</p> <p>「THE」がつく仕事がプロの流儀。 いつも自分に問うてみる。</p>	<h3>Integrity</h3> <p>27</p> <p>上司が持つべき最高の資質は、 才能ではなくIntegrity(誠実さ)。 部下は上司の頼りなさは許せても、 Integrityの欠如は許さない。</p>	<h3>無知罪</h3> <p>28</p> <p>無知は、時には罪深い。 「なぜ?」で「知」を引き上げる。 知は血となり力となる。</p>
<h3>熟腐の選択</h3> <p>29</p> <p>歳をとるにも、 熟成していく人と 腐っていく人がいる。 どちらを選ぶかは、あなた次第。</p>	<h3>誇張は欠如</h3> <p>30</p> <p>力を誇示するのは、自信の欠如。 信用を誇張する者へは、その信用を疑え。</p>	<h3>クリティカルシンキング</h3> <p>31</p> <p>ものごとを呑みこみせず、自分の頭で、 きちんと考える。 事実と意見を区別することだ。</p>	<h3>脱「忘却曲線」</h3> <p>32</p> <p>忘れるのは、忘れないからだ。 「エビングハウスの忘却曲線」 — 人間は1日で74%の記憶を忘却する— あなたの忘却本能と学習本能。 勝つのは、どっちだ?</p>	<h3>求同存異共歓共苦</h3> <p>33</p> <p>小異を残し、大同につく。 個々の違いは認めつつ、 共に歡び共に苦しみ、 未来へとベクトルを合わせよう。</p>	<h3>共創力</h3> <p>34</p> <p>共に創る、 あなたのチームと、あなたの会社。 その未来は自分ごと?他人ごと?</p>	<h3>Leadership × Followership</h3> <p>35</p> <p>フォローするリーダーと、 リードするフォロワー。 共存するのが最高のチーム。</p>
<h3>成長への解 (Kai)</h3> <p>36</p> <p>飛躍的急成長は、 任せられ、背伸びをしてみ、見守られ、で つかみ取れ。</p>	<h3>Another angle</h3> <p>37</p> <p>「組織に順応する人を育てた」のは、 「組織に依存する人を作った」のと同義かも。 視点を変えると、正しさも変わるらしい。</p>	<h3>ba対話</h3> <p>38</p> <p>日常の果てしない倦怠は、 ネガティブなことを誘い出す。 抜け出し、元気を回復する処方箋は、 心理的に安全が確保されている「ba」 での「対話」。</p>	<h3>Total Reward [働きのいい]</h3> <p>39</p> <p>認められ、褒められ、感謝され、 誰かの人生に必要とされること。 「働きのいい」という、仕事の報酬。</p>	<h3>Total Reward [人間成長]</h3> <p>40</p> <p>苦しみ、悩み、打ちのめされ、 そこから勝ち取った不滅の財産。 「人間成長」という、仕事の報酬。</p>	<h3>Total Reward [心の絆]</h3> <p>41</p> <p>認め合い、高め合い、謙れ合い、 共に歩んで紡がれた不変の結晶。 「心の絆」という、仕事の報酬。</p>	